



# 守山市 発達支援センターだより

令和6年度 8月号

令和6年8月1日発行  
守山市発達支援センター（発達支援課）  
守山市下之郷3丁目2番5号 すこやかセンター内  
Tel: 077-582-1158 Fax: 077-581-1628



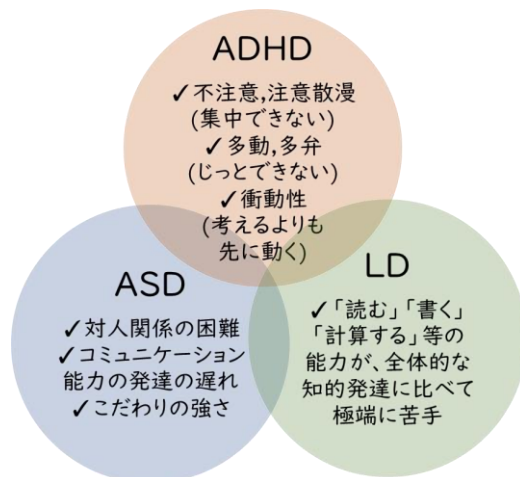
蒸し暑い日が続き、気力も体力も枯れ果てそうな今日この頃…みなさま、いかがお過ごしでしょうか。熱中症には気をつけましょうね。さて、今号の発達支援センターだよりでは、「代表的な発達障害とその支援」、「乳幼児期の子どもの気持ちを動かす大人の関わり」、「心身症と起立性調節障害について①」の3つのテーマをお届けします。

## 代表的な発達障害とその支援

### ◆代表的な発達障害の特徴

今回は、ASD(自閉スペクトラム症)、ADHD(注意欠如多動症)、LD(学習障害)という代表的な発達障害の概要について紹介します。それぞれの障害の主な特徴は、右図の通りです。

図の色の重なりのように、ADHDとASD、ASDとLDなど、複数の姿があてはまることもあります。例えば、衝動性の強さ(ADHD)と他者視点に立つことの苦手さ(ASD)の両方が影響し合い、自己流の解釈で誤解し、衝動的な行動に出てしまう…といったこともあります。



### ◆発達障害は特性×環境のミスマッチ？

発達障害は、医師による問診だけでなく、日々の子どもの生活面や学習面、対人関係などの情報を集め、多角的な視点から総合的にみて診断されます。発達障害の診断基準に明確な境界線はなく、障害レベルから個性の範囲まで、特性の程度は人それぞれです。どれだけ考えや行動が独特であっても、環境に不適合でなければ、それは個性の範囲内と言える場合もあります。その個性を理解しようとする中で、どのような支援が必要かがみえてくるかもしれません。

### ◆発達障害の特性を踏まえた支援

支援の際、子どもの特性を理解した上で、その子に合わせた個別的なサポートが求められます。以下、具体例を挙げてみます。

○ADHD: 不注意・衝動性から忘れ物が多くなりがちです。その場合、家族や先生がこまめに声をかけるようにする、持ち物チェックリストを目に見えるところに置くなどして、不注意や衝動性を補うようにします。

○ASD: 対人関係でのトラブルをなるべく防ぐため、大人が相手の気持ちを代弁したり、適切な言葉の使い方を伝えたりします。

○LD: 書かれた文字を読むことが難しい場合は、書かれた内容を言葉で伝え、音声として情報を理解できるようにします。

これらの支援は、あくまで一例です。その子の困りごとの背景に応じた支援ができることを大事にしたいです。

<参考文献> 上野一彦(監)(2013). ユーキャンの発達障害の子の保育 さいしょの一冊 第2版. ユーキャン学び出版.  
梅永雄二(監)(2015). 15歳までに始めたい! 発達障害の子のライフスキル・トレーニング. 講談社.  
安田祐輔(2021). ちょっとしたことであまくいく 発達障害の人が上手に勉強するための本. 翔泳社.

### 事務所引っ越し の お知らせ

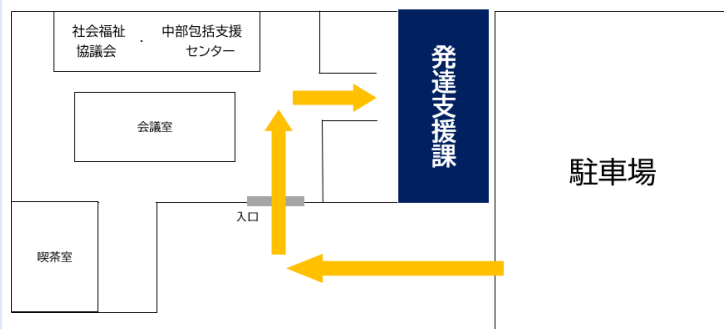


現在、すこやかセンターの改修工事を行っており、ご不便をおかけします。

発達支援課の事務所は、一時的にすこやかセンターの1階に移動しましたので、来所の際には右の図を参考にしてお越しく下さい。

その他、ご不明な点がございましたら、発達支援センター(☎582-1158)までお問い合わせください。

#### すこやかセンター



## 乳幼児期の子どもの気持ちを動かす大人の関わり

日々保育をしている中で、子ども同士のトラブルは付き物です。しかし、そんなトラブルの中にこそ、子ども達の心の動きはたくさんあり、子どもも大人も成長できるチャンスが散りばめられています。今回は、おもちゃの取り合いの場面を取り上げて、トラブル時の関わりについて考えてみたいと思います。

### ◆おもちゃの取り合いの場面で大人はどう関わる？

1〜2歳児クラスでの出来事です。A ちゃんが使っていたぬいぐるみを B ちゃんが取ってしまい、A ちゃんが泣いています。さて、どのように関わりましょう。



#### まず B ちゃんに関わったら？

多くの大人は、おもちゃを取ってしまった B ちゃんに駆け寄り、「B ちゃん、A ちゃんが泣いているよ。取ったらあかんね。貸してって言おうね。」等々、B ちゃんに言い聞かせようとしています。そうこうしているうちに、取られた A ちゃんはおもちゃを取られたことに我慢できず、相手を叩いたり、噛んだりすることが予想されます。

#### まず A ちゃんに関わったら？

先程はBちゃんに関わりましたが、反対に A ちゃんに関わったらどうなるでしょうか。

A ちゃんに「A ちゃん、おもちゃ取られて嫌やなあ。使いたいなあ」と言い、抱きかかえます。「B ちゃん、後で返してくれるって。それまで、先生と遊んで待ってようか？」と伝え、遊び始めます。

B ちゃんには「ぬいぐるみ使いたかったんやね。使っていいよ。でも、後で、A ちゃんに返してね」と言葉をかけます。確かに B ちゃんの行動はよくありませんが、A ちゃん同様に使いたかったという気持ちを受け止め、言葉にして返してみます。すると、A ちゃんと楽しそうに遊んでいる様子を、B ちゃんがチラチラ見ているのがうかがえます。きっと気になっているのでしょう。しばらくすると B ちゃん自ら、A ちゃんにぬいぐるみを返しにきます。その時、「B ちゃん、返してくれてありがとう」と思いきり褒めます。B ちゃんは、周りの大人に言われてぬいぐるみを返したわけではなく、B ちゃん自身の気持ちが動き、ぬいぐるみを返しました。

そして A ちゃんにも「A ちゃん、よく待っていたね」と褒めます。

### ◆子どもと関わる時の大人の心



子ども達と関わる時、私たち大人の中には、さまざまな「私」が現れます。トラブル時には、「ルールや道徳を重んじる私」がつい全面に出てしがちです。一方でトラブル以外の時には、子どもの好きなものを一緒に楽しんだり、悲しい時に一緒に悲しんだりする場面はありませんか？そのような場面では「子どもの心の動きを分かろうとする私」、「それを一緒に味わおうとする私」がいることに気づきます。しかし、この「私」はトラブルが起きると、途端に息をひそめてしまいがちです。

確かにおもちゃを取った B ちゃんの行動はよくありませんでした。しかし、B ちゃんの気持ちに触れずに道徳やルールを教え込もうとしても子どもの気持ちは動きません。まずは既に生じている子どもたちの心の動きに気づき、受け止めることで、子どもの気持ちはさらに動いていきます。その時には「ルールや道徳を重んじる私」と同じくらい、「子どもの心の動きを分かろうとする私」の存在が必要です。どちらの「私」も大切にしながら、子ども達が褒められる機会をたくさんつくれるといいですね。

## 心身症と起立性調節障害について①

### ◆心身症とは？

心の問題と密接に関係していることが多い身体の病気の総称です。

#### 代表的な病気

起立性調節障害、機能性腹痛症候群、機能性頭痛など

### ◆起立性調節障害って？

思春期に発症しやすい自律神経機能不全による低血圧の1つです。

思春期の生理的変化であり、加齢とともに改善し、一般的には予後は良いとされています。

#### 主な症状

立ちくらみ、失神、朝に起床するのが困難、気分不良（朝昼は元気がなく、夕方以降に元気になる）、食欲不振など

今回は心身症について、簡単に説明しました。起立性調節障害との付き合い方については、次号で詳しくお伝えします。

心身症は  
小中学生の約 10〜20%  
起立性調節障害は  
中学生の約 10%に  
見られる病気です

